

ニューズレターVol. 8 No. 1

Multiloop Edgewise Arch-Wire Technic and Research Foundation

マサチューセッツ州ウェストン

2001年11月

## 最新情報

1月22日 Dr. Young Kim は、イリノイ州オークブルックのイリノイ州矯正歯科学会 (Illinois Society of Orthodontists) において1日講習会を実施した。200名を越える出席者の中には、「The World Journal of Orthodontics」誌編集長の Dr. Tom Graber やシカゴのイリノイ大学教授 Dr. Carla Evans の姿もあった。聴衆からの反響は大きく、多くの人々が MEAW 治療による重度の不正咬合矯正の成果を信じられないようであった。

(写真)イリノイ会議での Dr. Graber と Dr. Kim

2月16日～18日の3日間、テネシー州メンフィスにおいて、テネシー大学小児歯科同窓会 (The University of Tennessee Pediatric Dental Alumni Association) 主催によるシンポジウムが開催され、170名の参加者が集った。Dr. Harold T. Perry Jr.、Dr. Robert L. Vanardsdall Jr.、Dr. Young H. Kim、ならびに Dr. Gerald Samson が矯正歯科治療の基本的見地に基づいて講演を行った。講演後、矯正歯科治療の問題点、特に開咬に関してパネルディスカッションが行われた。

(写真)テネシー州で講演する Dr. Kim

3月2日～4日、ジョージア州アトランタにおいて、Dr. Young Kim は重度の不正咬合に対する MEAW 治療の3日間講習会を実施した。講習会には45名が参加した。本講習会は Gnathos Inc. の後援により開催されたが、同社は Dr. Gerald Samson の指導下にある歯科矯正学の継続教育団体であり、現在、その会員の多くが The Quality Control Lab の MEAW ベンディングの支援を受けて MEAW 治療を利用している。この治療による素晴らしい成功例を報告する会員もおり、彼らは MEAW 治療に感動している。

(写真)アトランタの講習会での Dr. Kim

4月19日、20日の両日、Dr. Kimはニューヨーク州、ホワイトプレーンズで行われたNew-Conn矯正歯科研究会第18回隔年成長セミナー(The18th Biennial Growth Seminar at The New-Conn Orthodontic Study Group)に招かれ、講演を行った。他にDr. Anthony Gianelly、Dr. James Ackerman、Dr. Louis Costa、Dr. James McNamara、Dr. William Proffit、Dr. David Sarver、Dr. Patric Turley、ならびにDr. Robert Vanarsdallも講演を行った。同セミナーのこれまでの参加者数は通常150名ほどであったが、今年は250名以上の人々が集った。優れた講演によりきわめて素晴らしいセミナーとなった。

MEAW Foundation 第5回隔年国際大会が、カナダ、オンタリオ州ナイアガラ瀑布の美しい景勝地で盛大に開催され、会員・家族会員151名が参加した。おそらく、当大会はこれまでで最も素晴らしい会合であったかもしれない。オーストリア、カナダ、中国、コロンビア、ドイツ、ギリシャ、イタリア、日本、韓国、および米国から会員が参集した。ゲストスピーカーは、Dr. Tom Graberと北京大学のDr. Ding Zhangであった。Dr. Graberは、熟考すべき有益な問題であるTMJ(顎関節機能不全)問題に関し「ありのままに伝える」と題して講演を行った。Dr. Zhangは「MEAW技術による歯の最終的安定」について述べ、素晴らしい成果も示した。

他の20件のプレゼンテーションもいずれ劣らず有益で傑出したものであり、その多くが、最先端のコンピュータプレゼンテーションを用いて行われた。コロンビア、ボゴタのDr. Claudia Casanovaも、同国における開咬問題に関して実に見事なプレゼンテーションを披露した。

すべての会員・家族会員にとってナイアガラ瀑布見物は、本当に素晴らしく、刺激的で忘れられない思い出となった。彼らのほとんどが今回の大会をこれまでで最高のものと評し、今後もさらに素晴らしい会合となるであろうと述べた。

大会後、Dr. Graberから次のような書面が寄せられた。「カナダ、ナイアガラ瀑布で開催されたMEAW会議で皆様とお目にかかれて、本当に光栄でした。皆様方の団結心と、会員の方々の熱意に大変感動いたしました。多彩な論文に示された治療成果も実に見事なものでした。」

(写真)第5回国際大会でのDr. Graber

(写真)第5回国際大会でのDr. Ding Zhang

ナイアガラ瀑布での大会に引き続いて、5月5日、6日にカナダ、トロントにおいて開催された

AAO 第 101 回大会で、Dr. 佐藤貞雄、Dr. Unae K. Han、Dr. George Anka、  
ならびに Dr. Ding Zhang が MEAW による不正咬合治療に関する論文を提出した。この他に、日  
本 MEAW 研究会と韓国 MEAW 研究会のメンバーも MEAW 技術に関するポスター展示を行い、多くの  
賞賛を集めた。多数の矯正歯科医が MEAW 治療に多大な関心を寄せ、その習得を願っていること  
は明白である。

当会員で、コロンビア、ボゴタから出席されたカルタヘーナ大学助教授 Dr. Roberto Velasquez  
は、「Journal of Colombian Orthodontic Society」誌に、以下のようなⅢ級開咬治療に関する  
素晴らしい論文を 2 編発表した。

1. 症例報告：Ⅲ級開咬の非外科的治療、Journal of Colombian Orthodontic Society (第 5 号、  
20-24、2000 年)
2. 症例報告：Ⅲ級開咬の非外科的治療(第 2 部)、Journal of Colombian Orthodontic Society (第  
6 号、20-23、2001 年)

Dr. 佐藤貞雄が、「頭蓋顔面ダイナミクス考察時の不正咬合治療法」と題した日本語による  
素晴らしい著書を出版され、フィリピン、マニラの Dr. Cynthia Quismund が大変な・ご尽力  
により同著を英語に翻訳されました。本書には、不正咬合の原因と MEAW による不正咬合治療に  
関する Dr. 佐藤の見解も記されています。本書にご興味がおありの方は協会事務局、Dr. Unae  
Han (電話：781-894-1127、Fax：781-894-1129) までお問い合わせ下さい。価格は郵送料お  
よび手数料込みで 1 冊 150 ドルです。

8 月 5 日に韓国の大邱にて、9 日に北九州の県立九州歯科大学にて、Dr. Kim は開咬治療の 1 日  
講習会を実施した。暑い最中にもかかわらず、120 名を超える人々が同講習会に参加した。参  
加者は重度の不正咬合に対する矯正方法の習得を望んでいる。

Dr. Young H. Kim と Dr. Unae K. Han が「さまざまな不正咬合の治療における Multiloop Edgewise  
Arch-Wire (MEAW) の融通性と有効性」と題した記事を、「The World Journal of Orthodontics」  
誌 (第 2 号、208-218、2001 年) に発表した。発表以来、再版を望む声が多く寄せられており、  
多くの矯正歯科医が MEAW 技術に関心を寄せていることは明白である。

MEAW Foundation は MEAW 技術に関する書籍の出版を支援するために、北京大学に対し 1 万ドル  
の助成金を授与しました。Dr. Ding Zhang が同出版を担当されています。心よりご成功をお祈  
りいたします。

MEAW Foundation は、「The World Journal of Orthodontics」誌を支援するために同誌に対しても 1 万ドルを寄付しました。編集長の Dr. Tom Graber から「感謝の言葉もありません。あなた方は他が見習うべきモデルです」という感謝の言葉が寄せられました。

10 月 26、27 日の両日、日本 MEAW 研究会は大宮で第 11 回年次大会を開催し、170 名を越える出席者を集めた。同大会に先がけて 2 日半の MEAW 講習会が開かれ、64 名の熱心な参加者が集った。

同大会では、ゲストスピーカーの東北大学学部長、Dr. 渡辺誠が、咬合に関する有益で素晴らしい講演を行った。会員による他のプレゼンテーションも刺激的で教育的な内容であり、示された症例の中には、信じられないほど見事に治療されたケースもあった。そうした難しい不正咬合を他の通常の矯正方法で治療できるのであろうか。

第 12 回年次大会は、2002 年 10 月 3 日～6 日の日程で長野県において開催予定。

(写真)大宮で行われた 2 日半講習会の模様

日本 MEAW 研究会会長として、細心の気配りを持って献身のご活躍された佐藤貞雄先生が多忙のために同職を退かれ、後任として、池上富雄先生が会長を引き受けられました。池上先生は県立九州歯科大学を卒業後、マサチューセッツ州ボストンのタフツ大学で歯科矯正学を学びました。同氏は、米国歯科矯正学委員会(The American Board of Orthodontics)の資格証明書を取得しておられます。

(写真)会場で挨拶中の佐藤先生

2002 年 6 月 7 日と 8 日の両日、中国の北京において第 1 回北京国際 MEAW 会議が開催されます。同月 5 日、6 日、および 9 日には、Dr. Kim による 3 日間 MEAW 講習会も実施され、その後、4 日間と 6 日間の日程のガイド付きツアーも計画されています。中国を訪れたことがない方には、絶好の機会となるでしょう。特に 6 日間ツアーをお薦めします。参考のために登録用紙を同封しています。北京でお会いしましょう。

この大会に論文提出を希望される方は、2002 年 1 月 15 日までにタイトルとアブストラクトを

簡単な履歴書とともに、Dr. Kim (Fax : 781-237-2099、E-mail : youngkimdmd@earthlink.net) までお送り下さい。

現在の会員数

MEAW Foundation(米国)	126 名
日本 MEAW 研究会	512 名
韓国 MEAW Foundation	405 名

北京大学講師、Dr. Bingshuang Zou は韓国 MEAW Foundation から助成金を授与され、本年 3 月からソウル国立大学で研究に携わっている。同女史はまた、2002 年 3 月から半年間シカゴのイリノイ大学で研究を続ける機会も与えられた。

松本歯科大学で学んでいる中国の Dr. Genrai Yoo や、九州歯科大学で研究中の韓国の Dr. Suk Chung は、研究を行うために日本 MEAW 研究会の Kim 基金から奨学金を授与されている。

(訳責 中川 学)